

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症拡大により、イベント開催が制限される中、昨年度に引き続き、児童・生徒を対象とした啓発事業(ゴールボール体験会)を実施することができたため。	R2年度に改善した点	16. 平和と公平をすべての人に			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	12,003千円	10,745千円	①小中学校向けゴールボール体験会	意識啓発事業数	大会の機運醸成及びパラスポーツへの理解を深めることを事業の目的としているため、啓発事業数を指標としている。								
	根拠法令	-	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②市HPコンテンツ数		R1目標	R1実績							R2目標値が未達成の理由・分析
	事業の具体的な内容及び目的	東京2020オリンピック・パラリンピックをきっかけとして、様々なスポーツや他国の文化に触れながら、障害のあるなしにかかわらずスポーツを楽しむまちづくりをめざし、啓発事業の企画・運営、スポーツ体験会の開催、スポーツ選手の応援、情報発信、キャンプ地等の誘致を進める。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③	R2目標	R2実績	目標達成							
	期間	H26~R3	3.37人	0.00人	実績	R3目標	R3実績								
			28,011千円	1.00人	①5校(6回)	3回	6回								
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②6ページ	3回									
		2.42人	1.00人	③	3回										
		19,767千円													
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催方法を工夫して実施することができた。展示見学者数及び映像再生回数から、市民の多文化共生意識の醸成につながっており、また、外国人市民にとっても日本文化や本市への理解を深める場となっているため。	R2年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公平をすべての人に		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	200千円	112千円	①外国人市民の交流	参加者数	外国人市民が増加しており、市民と外国人市民との共生意識を育てていくには、より多くの方に本事業に携わってもらうことが重要であるため。								
	根拠法令	第6次所沢市総合計画前期基本計画	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②初めて参加した人数		R1目標	R1実績							R2目標値が未達成の理由・分析
	事業の目的及び具体的な内容	外国人市民との共生意識の醸成を目的とする。市内の国際交流ボランティア(団体・個人)が実行委員会を組織し、年1回実施している。フォーラムでは①姉妹都市の紹介②日本人、外国人市民がグループになって話す交流会③舞台での発表(和太鼓・歌・ダンス等)④常設コーナー(姉妹都市と本市の子どもが描いた絵の展示等)を実施し、市民(外国人市民を含む)間のコミュニケーションの機会、知人作りや国際理解の場を提供している。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	目標達成							
	期間	H7~	0.51人	0.00人	①-	550人	-								
			4,239千円	0.00人	②-	570人	-								
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		R3目標	R3実績								
		0.44人	0.25人		580人										
		3,594千円													
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	職員向け研修や庁内イントラネットによる情報配信等により、多文化共生の意識は着実に高まっており、取り組む所属数が増えているため。	R2年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	50千円	21千円	①研修及び講座参加者の多文化共生への理解度	多文化共生に取り組んでいる所属数	市全体で多文化共生に取り組むには、各所属で多文化共生を理解して取組みを進めていく必要があるため。								
	根拠法令	第6次所沢市総合計画前期基本計画	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②多文化共生に取り組んでいる所属数		R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析	
	事業の目的及び具体的な内容	日本人市民と外国人市民が互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としての共生意識を育むことを目的とする。①多文化共生に関する研修や講座を実施する。②NGOやボランティアと連携し、外国人市民への支援を行う。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	目標達成							
	期間	R1~	0.47人	0.00人	①100%	20	21								
			3,907千円	0.00人	②18	30	31								
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		R3目標	R3実績								
		0.32人	0.10人		30										
		2,614千円													